

令和8年度 公益財団法人大津市国際親善協会 事業計画

【基本方針】

令和9年3月31日をもって公益財団法人大津市国際親善協会は解散が決議された。50年近くの間、当協会は、国際文化観光都市にふさわしいまちづくりを市民の自発的な活動を主体として行うことにより、諸外国との文化・歴史などの特性を生かした国際交流活動を推進し、市民の相互理解と友好を深め、多文化共生社会に適応した地域づくりに寄与することを目的として事業を推進してきた。

残る1年のなかで、最後まで今後も様々な外部環境の変化に対応しつつ、本市の国際交流や多文化共生の拠点としての当協会の担う役割を認識し、以下に計画する各種事業を推進することにより、協会の歴史に幕を降ろすこととする。

《公益目的事業》

1. 在住外国人支援関連事業

国籍や民族などの異なる市民が、互いの文化的違いを認め合い、地域社会の構成員として共に生きていく多文化共生社会を目指す。在住外国人に対して、多文化共生サポーターが中心となってコミュニケーション支援や法律相談等を通じてサポートを行う。

また、在住外国人のコミュニケーション支援や生活情報の提供、交流の場の創出を目指し、必要な体制整備に向けた研修への参加や先進地視察などの取組も併せて実施する。

◆1-1 相談(法律)

【内容】 大津市内在住外国籍住民及びその配偶者等を対象に、入国管理に関する事から日常生活上の相談までを受け付け、問題に対するアドバイスを専門的な知識を有する多文化共生サポーター(行政書士など)が個別に対応する。

【日程】 月1回(第2水曜日)

【場所】 交流サロン

◆1-2 日本語教室の開催

【内容】 日本語を母語としない人を対象に、生活の支援を目的にした日本語教室を開催し、日本語を学習する機会を設ける。日本語を通じてコミュニケーション能力を向上させ、地域社会の一員として共生するためのきっかけ作りの場を提供する。多文化共生サポーターが対応する。

【日程】 年40回(予定)

【場所】 交流サロン、堅田コミュニティーセンター

2. 国際交流及び国際協力に関する情報の収集・提供

当協会の各事業に関する情報を、大津市が発行する「広報おおつ」や当協会が発行する「OIGA ニュース」、協会ホームページ等を通じて情報発信していく。

また、在住外国人向けに生活に役立つ情報を提供していく。

◆2-1 ホームページ、フェイスブックなどの運営

【内容】 当協会の活動が「広報おおつ」や「OIGA」など、紙面で入手できない場合であっても、ホームページなどにアクセスすることで情報を提供できるように環境を整える。

【時期】 掲載すべき情報がある場合に随時更新

3. 解散に伴う諸事業

当協会の解散により、今まで多大なご尽力をいただいた多くの市民の皆様に対し、感謝を示すとともに、姉妹都市として交流していただいた姉妹都市の関係者の皆様にお礼を申し上げるとともに、解散の報告を行う機会を設ける。

◆3-1 解散に関する催しの実施

【内容】 市民の皆様に対する感謝を伝える。

【時期】 令和8年度の下半期(予定)

《収益事業》

1. 語学講座の開講

語学の取得のみを目的とするものではなく、ネイティブの講師によるその国の文化・習慣や歴史を伝えながら、異文化に触れる機会を提供し、語学だけではない国際感覚に優れた人材を育成するための語学講座を開講する。また、より多くの市民が受講する機会を提供するため、外国語に触れるきっかけ作りとしての入門から、初級、中級までのレベルにあわせた講座を開講する。

【内容】 1年を2期(春夏コース4～9月、秋冬コース10～3月)に分け、ネイティブなどの講師による語学講座を開講する。

【日程】 通年

【場所】 交流サロン、研修室

語学(レギュラーコース)

・春夏コース 全18回(4～9月、8講座)

英語 入門(1クラス)・初級(2クラス)・中級(2クラス)

ドイツ語 初級(1クラス)

韓国語 初級(1クラス)・中級(1クラス)

・秋冬コース 全18回(10～3月、8講座)

英語 入門(1クラス)・初級(2クラス)・中級(2クラス)

ドイツ語 初級(1クラス)

韓国語 初級(1クラス)・中級(1クラス)

語学(ライトコース)

・春夏コース 全8回(4～9月、隔週、6講座)

英語 中級(1クラス)

ドイツ語 入門(1クラス)

中国語 入門(1クラス)

韓国語 入門(2クラス)

ベトナム語 入門(1クラス)

・春夏コース 全8回(10～9月、隔週、6講座)

英語 中級(1クラス)

ドイツ語 入門(1クラス)

中国語 入門(1クラス)

韓国語 入門(2クラス)

ベトナム語 入門(1クラス)